



## 新しい生活様式、でも“現地現場”が肝要

首都圏の移動制限でこの間、テレビ電話やオンライン回線でたくさんの現場のお声を伺いながら政策作りに奔走。物理的制約はあれども、“現地現場主義”は一貫したスタイルです。

### →『美波町産アオリイカ 沖漬け』が、ネットショップで爆売れ!

昨年仕込んだ地元との水産振興策が、コロナで注目の展開に。消費減で困窮する全国の漁師さんを応援するオンラインショップの経営者に引き合わせ、出品後数時間で完売。商売の仕方が変わる時代、発想やスタイルを変えれば、チャンスは必ずやってくる! 頑張ろう、農林水産業・製造業!



## 中西祐介 プロフィール



■誕生日: 1979年7月12日  
■出身地: 徳島県阿南市  
■ボリシー: 天命に生きる  
■趣味・特技: グライダー、カラオケ  
料理、SUP

■主な経歴  
・財務大臣政務官(2015年)  
・自民党 水産部会長(2016年)  
・自民党 政務調査会副会長(2017年)  
・参議院憲法審査会幹事(2018年)  
・自民党 青年局長代理(2014年)

■選挙  
参議院議員選挙(徳島選挙区)初当選  
2010年 142,763票  
同 (徳島・高知選挙区)再選  
2016年 305,688票



### 熱い仲間、募集中!

中西祐介事務所(東京/徳島/高知)では、国民の皆さんに寄り添える、チーム力のある事務所を目指しています。志を共にし、日本を切り拓く仲間、お待ちしています。

現在の役職 ○参議院 財政金融委員会 委員長 ○麻生派(参)上公会 政策審議会長



2013年12月  
本会議初登壇

史上最年少34歳4ヶ月の登壇。  
与党を代表して補正予算案の賛成  
討論。



2015年10月  
財務大臣政務官就任

史上最年少36歳2ヶ月。  
税、財政、金融など国家経営の根本  
を司る。



2016年10月  
自民党水産部会長 就任

5年毎見直しの水産基本計画改  
定を主導、漁業法を約70年ぶりに  
改正。



2018年9月  
参議院ODA視察団長として中東へ

イスラエルとパレスチナ等、地域和平  
が望まれる。日本の人道支援で平和への  
橋渡しを現地にて。

## 中西祐介事務所

東京事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館622号室  
Tel.03-6550-0622 Fax.03-6551-0622  
✉ yuusuke\_nakanishi01@sangiin.go.jp

徳島事務所  
自由民主党徳島県参議院選挙区第二支部  
〒770-8056 徳島県徳島市問屋町31番地  
Tel.088-655-8852 Fax.088-655-8853  
✉ yuusuke-nakanishi@nifty.com

## 高知事務所

〒780-0861

高知県高知市升形1-21  
自民会館

“読む、中西祐介 JOURNAL/Y” バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。

詳しい情報は  
ホームページへ

<https://yusuke-nakanishi.info>



# 読む、中西祐介 JOURNAL/Y

2020夏 Issue 16

“日に新たに”に躍動する 徳島県・高知県 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナル ワイ / Create our new age and make each day a-new



## 日本の 国家戦略を さし示す

令和2年度第二次補正予算関連法の  
成立のため、財政金融委員長として登  
壇。経済回復と社会不安払拭のため、  
友人から贈られた、特製本藍染めマ  
スクを着用して、速やかな実行を訴える。

### ご挨拶

皆さま、お元気にお過ごしでいらっしゃいますか。突如として世界を巻き込んだコロナ禍、改めて健康で穏やかな日々の暮らしがいかに有り難いことか、痛感します。  
この緊急事態こそ、皆さんのお顔を胸に、参議院財政金融委員長としての職責を果たし、ただひたむきに努力邁進せねばと臨む日々です。全ては希望ある日本を切り拓くために。

参議院議員 中西祐介

公式HPが  
リニューアルされました!

政策や日頃の活動発信のため、各種SNSとも  
連動した公式HPを一新。是非お気軽にご覧  
頂き、ご意見交換をさせて頂きながら、共に世  
の中を前へ進めましょう。

公式Facebookはこちらでご覧頂けます ▶▶ <https://www.facebook.com/183016952047014/>



## 「令和新時代－ “活力ある健康長寿社会の実現” のための諸施策53」政策集、完成。

議員グループの政策審議会長(政策取りまとめ責任者)として、社会保障制度改革案を上梓。コロナ後も見据えた社会像を提示する内容で、安心安全な社会の実現には、常に改革への挑戦が必要です。予防医療推進や地域医療体制の確保、社会保障とデジタル化社会改革、女性・高齢者・若者・障がい者施策など、仲間との叡智を集めた53項目。



### 主な論点

- コロナ禍であぶり出された日本社会の脆弱性を総点検し、構造変容を実現する
- 変化する人口構成に適合する、民間経済力と社会保障制度の持続性の担保策
- 台頭する権威主義(共産圏)に、民主主義や日本の不可欠性を示す外交戦略
- サプライチェーン(製品供給網)の再構築を含めた、経済安全保障戦略 ほか

今秋の取りまとめに向けて、政策づくりに汗をかいて参ります。

## ポストコロナの国家戦略 「新国際秩序創造」

党税調会長甘利先生を座長として、政府方針の素地となる国家戦略を策定する幹事役に就任。目前の弥縫策にとらわれない、骨太の政策作りにど真ん中で参画しています。



## 「TOKUSHIMA FUTURE SUMMIT 2020」開催

多くの同世代と共に、徳島のあるべき将来像をディスカッション。“徳島愛”に溢れた仲間と、我が地域の課題と解決策を模索。責任世代の自覚と行動で、社会を前に。



### マスク5万枚を

#### 医療機関関係者へ

在庫不足、価格高騰の最中、医療用マスクを懸念に対応にあたる医療機関の皆さまへおつなぎ。緊急時には人のご縁が最も大切です。



### 道路整備要望

県議会、市町村長さんとの連携で、財務省・国交省への要望を継続。県南へ延伸、4車線化の実現、四国8号ルートの連結へひたむきに。熱意こそ、人の心と予算を動かします。

### 上板町高志小学校で講演

SDGsアワード、小中学校の中から全国唯一受賞したご縁で視察。意欲ある活発な児童の皆さんとの食も美味。

### 徳島県議会のオンライン研修 をアシスト

私の発案で、首都圏への研修が叶わない県議会の先生方の研修会を、全国初オンラインで実現。“汗は自分で、手柄は人に”

### 国立循環器病研究センター 視察

母校富西OB小川久雄理事長を頼って、医療現場視察。医療官員オープンイノベーションへの挑戦など、先進事例を政策へ。

### 徳島県連コロナ問題 WEB会議

医師会、商工会/商工会議所、町村会などの代表の皆さんと、他の都道府県に先んじて切実な現場のご意見を拝聴。



## コロナ対策予算(補正予算一次・二次)概要 →過去最大の対策費を可決、迅速な執行へ

(数字は概算値)	事業規模	財政支出
一次補正等	117.1兆円	48.4兆円
二次補正等	117.1兆円	72.7兆円
合 計	233.9兆円	120.8兆円

⇒詳細資料および手続きのご相談は、中西祐介事務所までご連絡ください。

●主な支援策  
雇用調整助成金の拡充、特別定額給付金(10万円)、地方創生臨時交付金(計3兆円)、家賃支援給付金の創設、持続化給付金の対象拡大、中小・小規模事業者、中堅・大企業向け融資枠拡大、児童扶養手当受給世帯等への支給、医療機関・医療従事者等への支援・慰労金等々

## 財政金融委員長として、過去最多クラスの法案を可決・成立



- 1 外国為替および外国貿易法の一部を改正する法律案
- 2 平成三十年度歳入歳出の決算上の剩余金の処理の特例に関する法律案
- 3 所得税法の一部を改正する法律案
- 4 関税定率法の一部を改正する法律案
- 5 国際金融公社への加盟に伴う措置に関する法律及び国際開発協会への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案
- 6 新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律の臨時特例に関する法律案
- 7 株式会社日本政策投資銀行法の一部を改正する法律案



### WEBミニ会議

まちづくりを進める大学生主体の皆さんと意見交換。確かに世代によっては“WEBきっかけの政治”は十分あり得る。



### 憲法改正研修会

「前文」は国柄を表す表紙。1990年以降成立の世界の全ての憲法で100%存在する項目は「緊急事態」対処規定。合区解消も重要論点。

### 濱田知事からのご要請

政策と人徳の濱田知事より対面・WEB双方での政策ご提案。県市町村と国の連携こそ、最大のパフォーマンスを発揮させる。

## 中西祐介コラム

### —われわれは何と戦い、何を克服するか—



"Our problems are man-made; therefore, they can be solved by man. Man's reason and spirit have often solved the seemingly unsolvable. I believe they can do it again."

(私たちが抱える問題は、人間が作り出したものだ。したがって、人間が解決出来る。人間の理知と精神は、解決不可能と思われることもしばしば解決してきた。これからもまたそう出来ると私は信じている。)

-John F. Kennedy(ジョン・F・ケネディ)

世界中を不安に陥れた“コロナ”は、一つの有事と定義出来るかもしれません。当初戦う相手は目に見えず、やりつける方策もなし。まさに試行錯誤の模索の中、最小限の収束へ必要なのは、「協力連携」と「脆弱性から学ぶ」ことだと感じます。一人ひとりの行動姿勢、国際的な情報共有、力でねじ伏せる独裁権威主義に勝るべき自由主義国家の不可欠性、社会の安定的維持リスク分散、データ収集や解析、“紙”主体の行政の脱却、国としてコストを払っても守るべき民間機能、、。

コロナはどうやら、戦う相手という認識より、むしろこの危機を通じて見えた国家や世界人類の弱さを素直に見つめ、社会の改革の契機とすることこそ、今のわれわれの至上命題だと考えています。キューバ危機から核拡散を危惧して、“平和のありよう”を訴えたJFKの当時の外交演説を重ねながら、この未曾有の戦いを終息させる決意を改めて致すものです。

令和二年 参議院議員 中西祐介

NAKANISHI  
YUSUKE'S  
COLUMN